

全員参加による環境改善活動で、品質も勿論環境も

株式会社三ツ矢（本社：東京都品川区 草間 誠 一郎 社長 従業員 236 名 <http://www.mitsuyanet.co.jp/>）は創業昭和 6 年の、めっき加工のパイオニアです。各種電子・電気部品、自動車部品などへの高信頼度めっきを行っています。

東京の五反田と八王子、山梨は甲府、山形は米沢に拠点があり、五反田工場と米沢工場は、それぞれエコステージの導入による環境経営システムの構築を行い、ともに 2006 年 2 月エコステージ 1 の認証を取得しました。

米沢工場（松坂純一工場長 従業員 65 名 http://www.mitsuyanet.co.jp/f_yonezawa.htm）は八幡原中核工業団地内にあり、手動めっきライン、自動めっきライン、フープめっきライン（ステンレス素材対応）が配置され、銀めっき、金めっき、半田めっきなど多品種・多形状なめっきで、お客様の多様なニーズにお応えしています。

エコステージの取り組みについて、松坂工場長にお伺いしました。

<エコステージ導入の目的（もしくはきっかけ）をお教え下さい。>

松坂氏：従業員の環境保護や維持活動への意識付け、またシステム化を促進することで生産性の向上と 5 S 活動の活性化もできると思ったからです。

<エコステージ導入による変化や具体的な効果はございましたか？>

松坂氏：まず、定性的な効果としては、従業員の環境に関する意識が大幅に向上したこと 環境（節電、節水等）に対するシステムの構築が促進されたこと 誰かが行っているのではなく、全員で取り組んでいるという意識が出てきていること 目標を数値化することで、意識が高揚したこと 作業中の無駄な使用電気に気がつくようになったことなどです。
また、定量的な効果としては、電気使用量の低減 不具合発生件数の低下 経費の削減などがありました。

<活動の中で、ご苦労された点・難しかった点などがございましたか？>

松坂氏：初めてのシステム作りで、特に苦慮したのは重点管理項目の抽出、選定です。各部署に、自部門の管理項目を決めるのに喧々がががでした。でもこれを徹底して行った結果、工場全体と、部門単位の重点管理項目の設定ができ、管理しやすくなりました。しかし、ルールの周知徹底の難しさは痛感しました。

<それでは、今後の取り組み計画をお聞かせ下さい。>

松坂氏：今後も環境保護に関する改善活動や環境美化の促進を継続維持していきたいと思っています。そして、すでにステージアップとして来年度のエコステージ 2 取得を目指して活動を開始しています。

<従業員全員による初回研修会>



<米沢工場>

